



# タイマースケジュール設定ソフト Ver.4

(デジタルプログラムチャイム PA-DT600(B) 設定用)

型名 **PA-ZS600T**

取扱説明書  
(B)

お買い上げありがとうございます。  
この「取扱説明書」は、本製品の操作方法を説明しています。よくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ご注意

- 本製品にはチャイム音源として、複数の楽曲が収録されています。これらのデータをデジタルプログラムチャイム（PA-DT600(B)）での再生以外の目的で利用することは禁止されています。
- お客様が、新規チャイム登録として新たな楽曲を追加登録する場合には、その楽曲の著作権者などの使用許諾を得る必要があります。

## もくじ

### はじめに

こんなことができます .....	3
ソフトウェア使用許諾契約書 .....	4

### 準備

動作環境 .....	5
PA-DT600(B) 本体との接続 .....	5
インストールのしかた .....	6
操作をはじめる前に .....	6
USB ドライバーのインストール .....	6
PA-ZS600T(B) アプリケーションのインストール .....	8
アンインストールのしかた .....	10
コントロールパネルの「プログラムと機能」から アンインストールする .....	10
設定の「アプリと機能」からアンインストールする .....	11
タイマースケジュール設定ソフトを起動する .....	12
アプリケーションの概要 .....	13

### スケジュールの設定

スケジュール設定の流れ .....	14
1 日のスケジュールを設定する .....	15
週間スケジュールを設定する .....	18
年間スケジュールを設定する .....	19
設定を保存する .....	20

### その他の設定

本体の設定 .....	21
新規チャイムファイルの登録および試聴 .....	23
新規 BGM ファイルの登録および試聴 .....	25
BGM プレイリストの作成 .....	27
設定データの読み込み／書き込み .....	29
オプションの設定 .....	31

### その他

PC で本体を操作するには .....	32
よくあるご質問 .....	33

### 付録

デジタルチャイムカードのチャイム音・楽曲一覧 .....	34
CD-ROM 内の JVCCHIME フォルダのチャイム音・ 楽曲について .....	34

## こんなことができます

本ソフトは、デジタルプログラムチャイム PA-DT600(B) (以下 PA-DT600(B)) のシステム設定および、スケジュール設定をパソコン (以下、PC) 上で行うための支援アプリケーションです。

### スケジュール設定

1 日分のスケジュールであるパターンの設定、1 週間単位での週間スケジュール、特定の日に特別な動作をさせたいときに使用する年間スケジュールの設定が可能です。

### PA-DT600(B) 本体に関する設定

PA-DT600(B) 本体の各種設定項目を PC 画面上から登録することができます。

### 新規チャイムファイルの登録

「校歌」など、ユーザー独自のチャイムファイルを登録することができます。

### BGM プレイリストの編集

BGM ファイルからミュージックおよびプレイリストの編集ができ、本体に転送することができます。

### BGM ファイルの PA-DT600(B) 本体への登録

ユーザー独自の楽曲ファイルを BGM ファイルとして登録することができます。

### PC から PA-DT600(B) 本体を制御する


PC から、PA-DT600(B) 本体の制御とエラーログの確認ができます。

## 本書の見かた

### ■本文中の記号の見かた

**ご注意：** 操作上の注意が書かれています。

**メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 : 参考ページを示しています。

[ ] : 本ソフト上の操作キーや、PC のキーボード上のキーを表します。(例) [OK]

【 】 : PA-DT600(B) 本体前面のハードボタンを表します。(例) 【停止】

### ■本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- PA-DT600(B) は、PA-DT600 とは製品仕様が異なります。また、本ソフトは PA-DT600(B) のみに対応しています。PA-DT600 には対応していません。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書で使用している画面は、OS のエディションやバージョンにより異なる場合があります。

## ソフトウェア使用許諾契約書

PA-ZS600T(B) をインストールする前に、必ずお読みください。

株式会社 JVC ケンウッド・公共産業システム（以下「弊社」といいます）は、お客様にお買い上げいただいた「タイマースケジュール設定ソフト [PA-ZS600T(B)]」（以下、「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

### 著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

### 権利の許諾

1. お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、お客様のパソコン 1 台に搭載された HDD その他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。
2. お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

### 制限事項

1. お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。
2. お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
3. お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

### 限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

### 責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、結果的、付随的あるいは懲罰的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

### 輸出管理

お客様は、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を日本ならびにその他の関係国が出荷等を禁止ないし制限している国に出荷、移転または輸出しないことに同意します。

### その他

1. 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
2. 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
3. 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

## 動作環境

### ■ 使用可能な PC の仕様

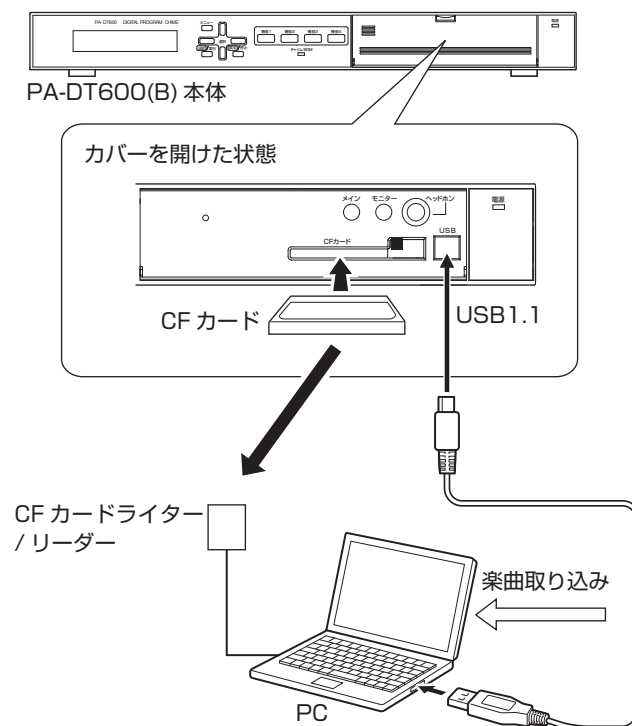
- OS** : ・ Windows 7 Home Premium Service Pack 1  
・ Windows 7 Professional Service Pack 1  
・ Windows 8.1 Update  
・ Windows 8.1 Pro Update  
・ Windows 10 Home  
・ Windows 10 Pro  
※ 各 OS は日本語版のみの対応です。また、32/64 ビットの両方に対応しています。
- CPU、メモリー** : 各 OS のシステム要件を満たすこと
- HDD** : アプリケーションのインストールに 100MB 以上の空き容量が必要
- ディスプレイ** : 1280 × 768 ドット以上
- インターフェース** : 光学ドライブ  
USB 準拠のシリアルインターフェース

メモ:

- アプリケーションのインストールには管理者権限が必要になります。
- PC の仕様は、アプリケーションを快適にお使いいただくための目安であり、動作を保証するものではありません。動作環境を満たしている PC をお使いでも、お客様の使用状況によっては、快適にお使いいただけない場合があります。
- Windows 7 または Windows 8.1 のコントロールパネルのデスクトップのカスタマイズの設定、または、Windows 10 の設定のディスプレイのカスタマイズの設定で、テキストやその他の項目のサイズの拡大率が大きくなっている場合は、アプリケーションの項目が画面に収まらなくなることがあります。その場合は、アプリケーションの項目が画面に収まるように、拡大率を下げてください。

## PA-DT600(B) 本体との接続

以下のように、PA-DT600(B) 本体と PC を接続し、スケジュールの作成などを行います。



ご注意:

- 新規チャイムファイルや BGM ファイルを登録する場合は、CF カード（デジタルチャイムカード）を挿入した CF カードライター / リーダーを PC に接続する必要があります。
- PA-DT600(B) 本体で設定したデータを PC に取り込んだり、PC で設定したデータ（システム設定、スケジュール設定）を CF カードに書き込む場合は、以下の 2 種類の方法で行うことができます。
  - CF カードを PA-DT600(B) 本体に挿入した状態で、PC と PA-DT600(B) を USB ケーブルで接続する。
  - CF カードを挿入した CF カードライター / リーダーを PC に接続し、直接データの取り込み、書き込みを行う。
- PA-DT600(B) に挿入されている CF カード（デジタルチャイムカード）、デジタルメモリーカード（別売）以外の CF カードの動作保証はいたしません。

「デジタルメモリーカード」（サービスパーツ扱い）  
品番 T9D-0027-00（512MB）楽曲なし

詳しくは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## インストールのしかた

### 操作をはじめる前に

インストールを開始する前にウイルス対策ユーティリティを解除してください。ウイルス対策ユーティリティは、インストールの妨げとなることがあります。

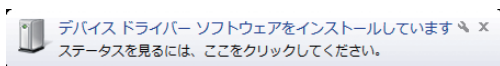
Windows およびウイルス対策ユーティリティは、パーソナルファイアウォール機能を搭載しているものがあります。この機能が「ON」になっていると正常に動作しないことがあります。この場合は「OFF」にしてお使いください。

## USB ドライバーのインストール

### 1 PC と本体を接続する

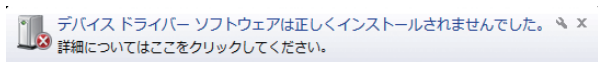
#### ■ Windows 7 の場合

PC と本体を USB ケーブルで接続すると、デバイスドライバをインストールしていない場合に画面右下に「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」が表示されることがあります。この表示が消えるまでお待ちください。



しばらくすると、「デバイスドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」が表示されます。

次の「2 デバイスマネージャーを起動する」のステップに進みます。



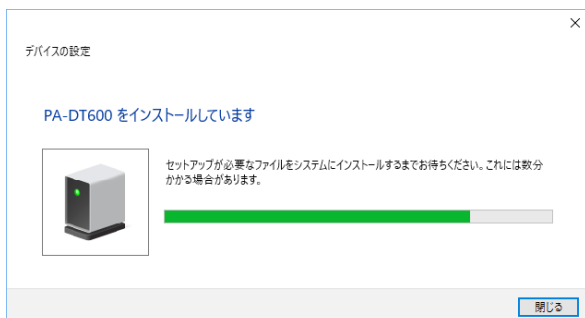
#### ■ Windows 8.1 または Windows 10 の場合

PC と本体を USB ケーブルで接続すると、デバイスドライバをインストールしていない場合にタスクバーに下記のようなアイコンが表示されることがあります。この表示が消えるまでお待ちください。

表示が消えたら、次の「2 デバイスマネージャーを起動する」のステップに進みます。



タスクバーのアイコンをクリックすると下記のような画面が表示されます。この表示が消えるまでお待ちください。



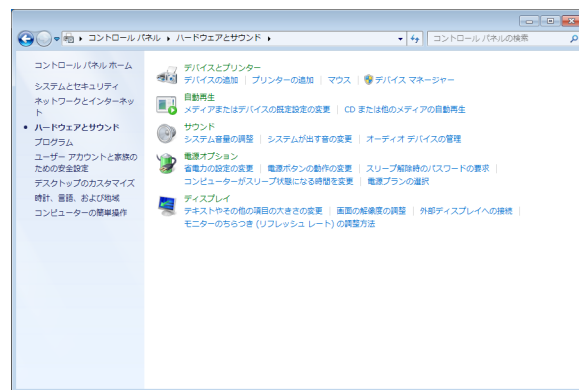
### 2 デバイスマネージャーを起動する

#### ■ Windows 7 の場合

スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックして、コントロールパネルを表示します。

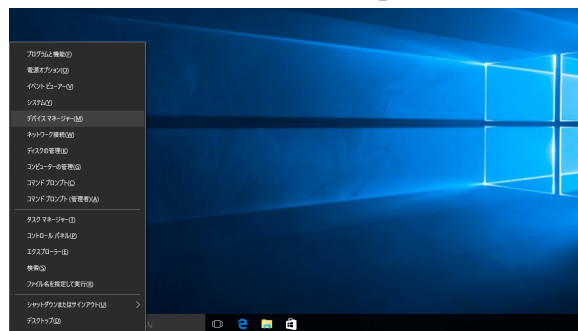
コントロールパネルの表示方法が「カテゴリ」表示の場合は、「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「デバイスとプリンター」グループの「デバイスマネージャー」をクリックします。

コントロールパネルの表示方法が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」表示の場合は、「デバイスマネージャー」をクリックします。



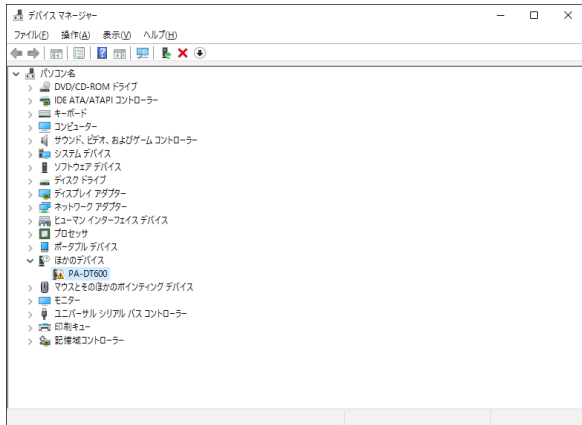
#### ■ Windows 8.1 または Windows 10 の場合

[Windows] キーを押しながら [X] キーを押すかスタートボタンを右クリックしてクイックアクセスメニューを表示し、「デバイスマネージャー」をクリックします。



### 3 USB ドライバーがインストール済みか確認する

「ポート (COM と LPT)」に「PA-DT600 USB Driver」と表示されている場合は、USB ドライバーのインストールは必要ありません。  
「ほかのデバイス」に「PA-DT600」が表示されている場合は、USB ドライバーのインストールを行います。



メモ：

- 「ポート (COM と LPT)」または「ほかのデバイス」に「PA-DT600」が表示されない場合は、USB ケーブルをいったん抜いてから差しなおしてください。

### 4 PA-ZS600T(B) インストールランチャーを起動する

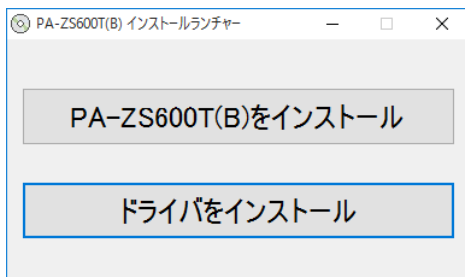
付属の CD-ROM 内、または、ダウンロードしたファイルを解凍してできたフォルダー内にある「PA-ZS600T(B)Launcher.exe」をダブルクリックします。

メモ：

- 拡張子「.exe」は、PC の設定により表示されない場合があります。

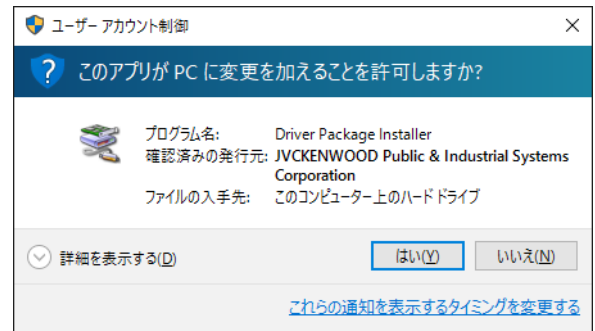
### 5 USB ドライバーをインストールする

「ドライバをインストール」をクリックします。



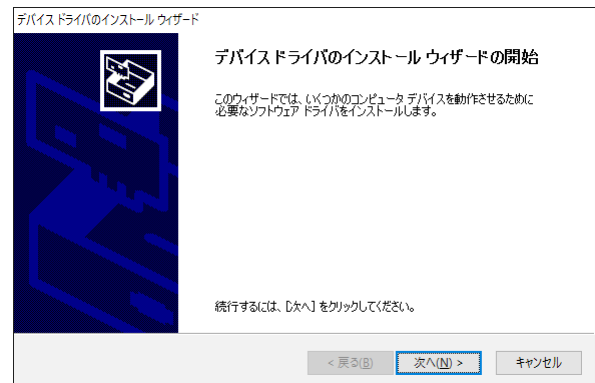
### 6 PC に変更を加えることを許可する

「ユーザーアカウント制御の設定」により、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、[はい] をクリックします。



### 7 デバイスドライバのインストールウィザードを開始する

[次へ] をクリックします。

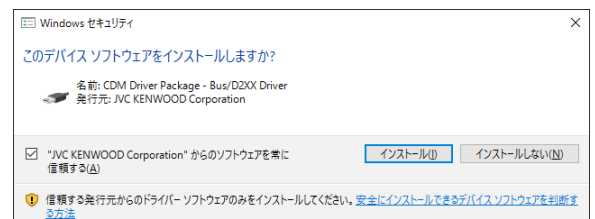


### 8 デバイスドライバをインストールする

ドライバのインストールが完了するまで待ちます。



デバイスドライバをインストール中に Windows セキュリティ画面が表示された場合、[インストール] をクリックしてインストールを続行します。





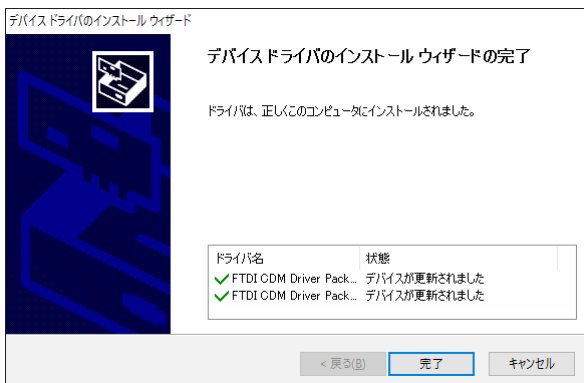
## インストールのしかた（つづき）

メモ：

- 「“JVC KENWOOD Corporation”からのソフトウェアを常に信頼する」にチェックを付けると、今後この画面は表示されなくなります。

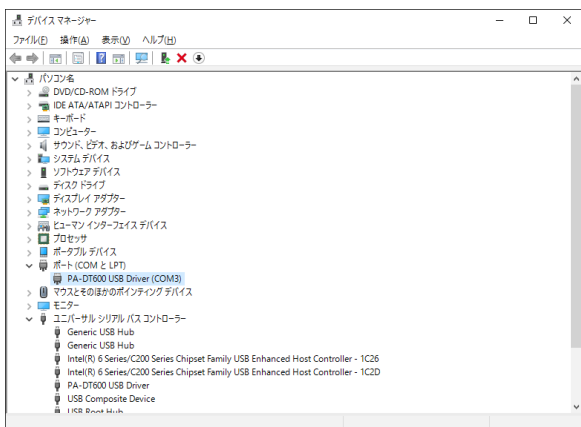
### 9 デバイスドライバのインストールを完了する

[完了] をクリックして、デバイスドライバドライバのインストールを完了します。



### 10 USB ドライバーが正常にインストールされたか確認する

デバイスマネージャーで、「ポート（COM と LPT）」に「PA-DT600 USB Driver」と表示されていることを確認してください。



## PA-ZS600T(B) アプリケーションのインストール

### 1 PA-ZS600T(B) インストールランチャーを起動する

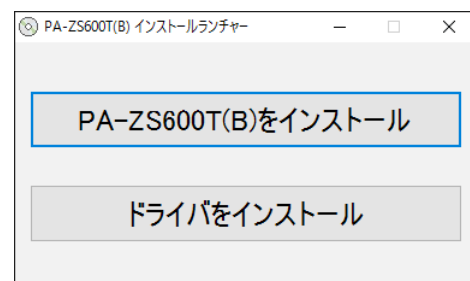
付属の CD-ROM 内、または、ダウンロードしたファイルを解凍してできたフォルダー内にある「PA-ZS600T(B)Launcher.exe」をダブルクリックします。

メモ：

- 拡張子「.exe」は、PC の設定により表示されない場合があります。

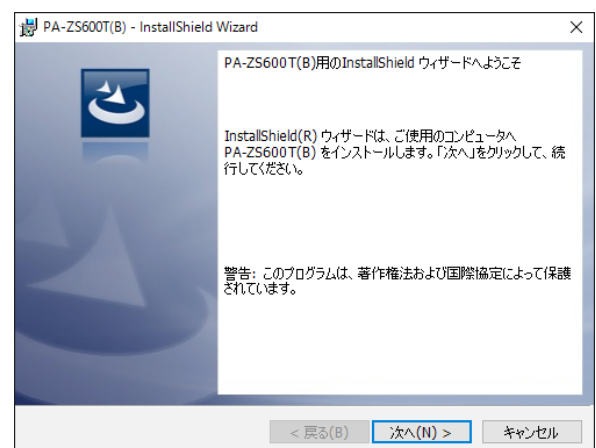
### 2 PA-ZS600T(B) をインストールする

[PA-ZS600T(B) をインストール] をクリックします。



### 3 インストールウィザードを開始する

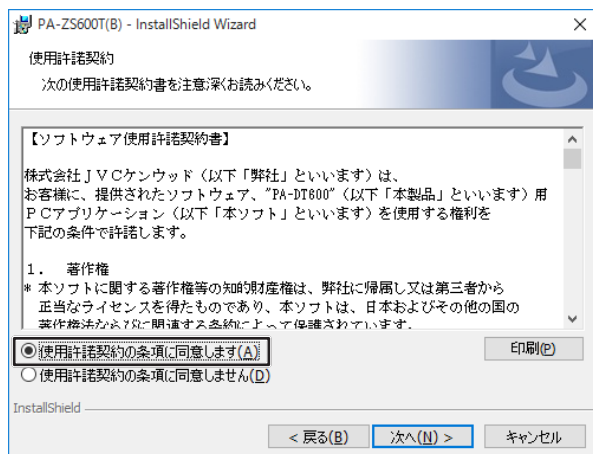
[次へ] をクリックします。





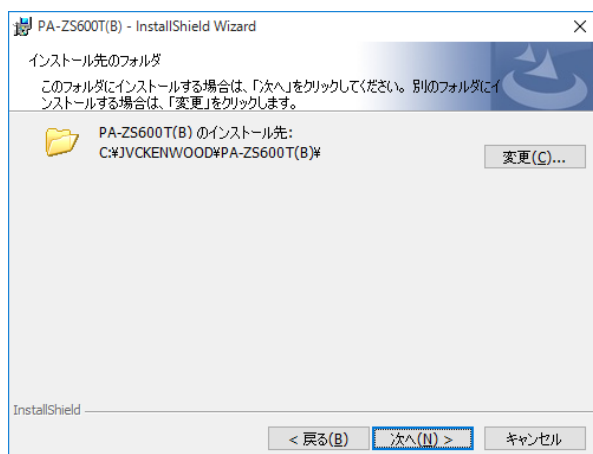
## 4 ソフトウェア使用許諾契約書に同意する

ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認し、同意できる場合は、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。  
同意できない場合は、[キャンセル] を押して、インストールを中止します。



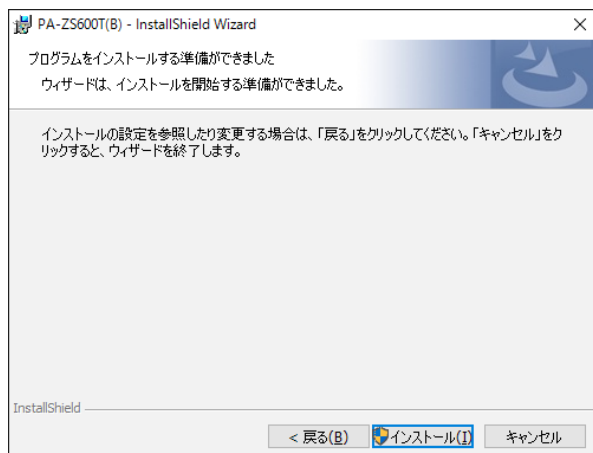
## 5 インストールするフォルダを選択する

インストールするフォルダを選択する場合は [変更] をクリックして、インストールするフォルダを指定します。



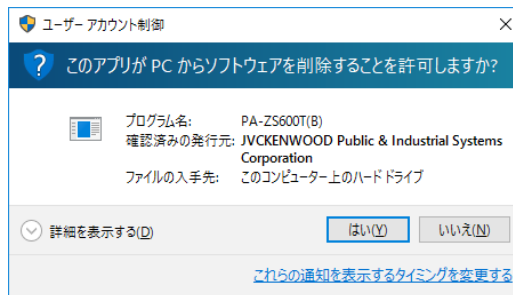
## 6 インストールを開始する

[インストール] をクリックします。



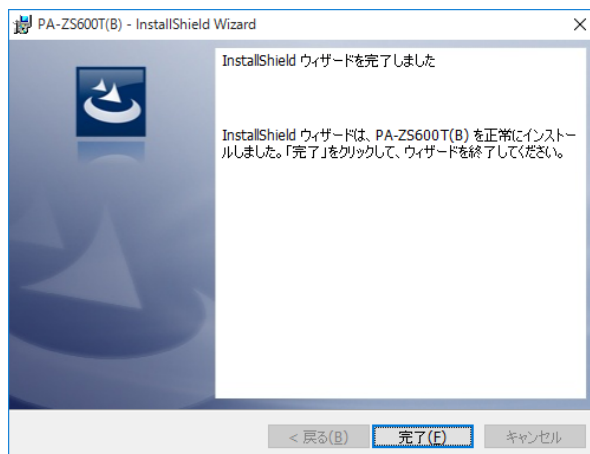
## 7 PC にソフトウェアをインストールすることを許可する

「ユーザーアカウント制御の設定」により、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、[はい] をクリックします。



## 8 インストールを完了する

インストールが完了したら、[完了] をクリックします。



## アンインストールのしかた

- コントロールパネルの「プログラムと機能」からアンインストールする

### 1 「プログラムと機能」を表示する

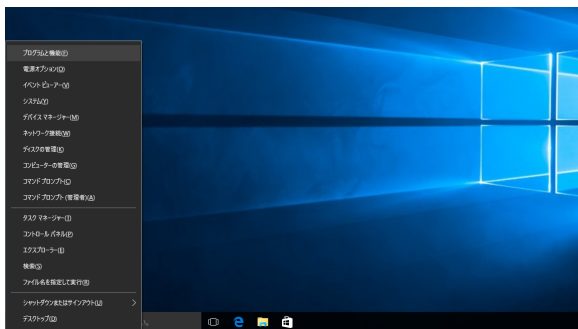
#### ■ Windows 7 の場合

スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックして、コントロールパネルを表示します。  
コントロールパネルの表示方法が「カテゴリ」表示の場合は、「プログラム」グループの「プログラムのアンインストール」をクリックします。  
コントロールパネルの表示方法が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」表示の場合は、「プログラムと機能」をクリックします。



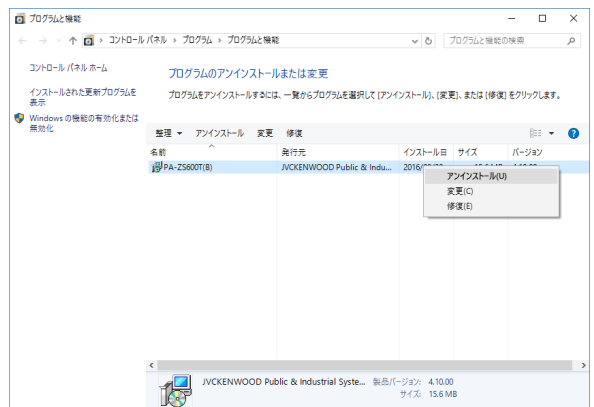
#### ■ Windows 8.1 または Windows 10 の場合

[Windows]キーを押しながら[X]キーを押すか、スタートボタンを右クリックして、クイックアクセスメニューを表示し、「プログラムと機能」をクリックします。



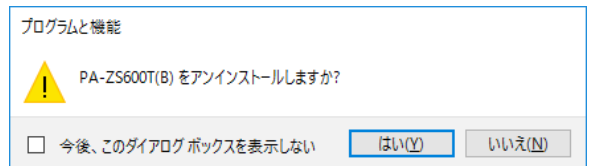
### 2 インストーラーを起動する

プログラムの一覧から「PA-ZS600T(B)」を選択し、上部の[アンインストール]をクリックするか、右クリックして「アンインストール」をクリックします。



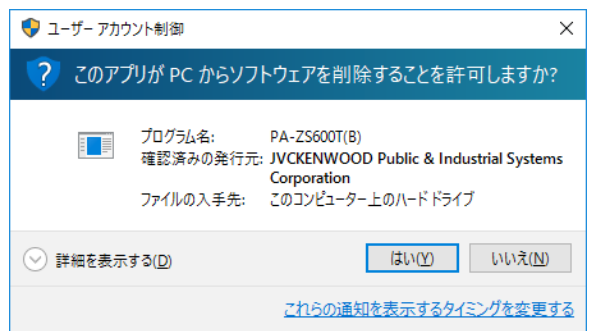
### 3 アンインストールを開始する

[はい] をクリックして、アプリケーションをアンインストールします。



### 4 PC からソフトウェアを削除することを許可する

「ユーザーアカウント制御の設定」により、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、[はい] をクリックします。



### 5 アンインストールを完了する

しばらくするとアンインストールが完了します。

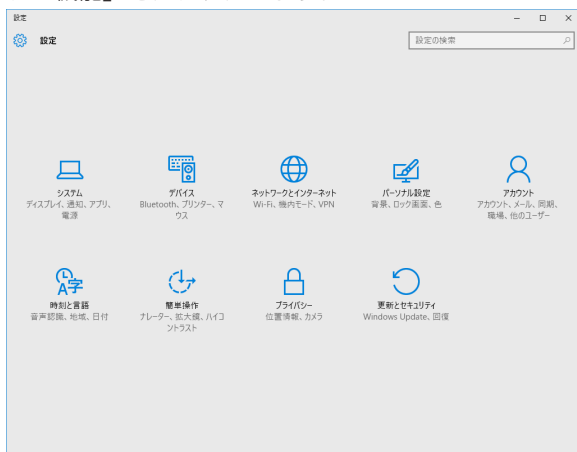
## ● 設定の「アプリと機能」からアンインストールする

Windows 10 では「アプリと機能」からもアプリケーションをアンインストールすることができます。

### 1 「アプリと機能」を表示する

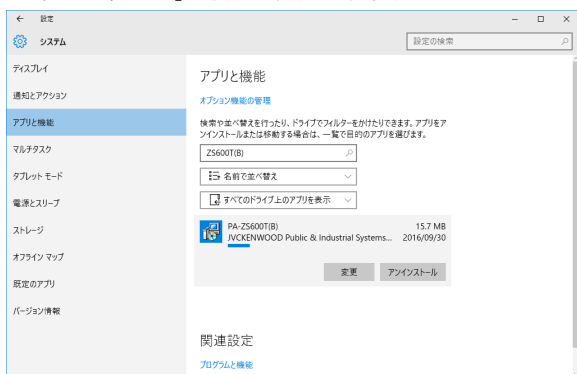
スタートメニューから「設定」をクリックして、設定を表示します。

「システム」をクリックしてシステムを表示し、「アプリと機能」をクリックします。



### 2 インストーラーを起動する

アプリの一覧から「PA-ZS600T(B)」を選択して、「アンインストール」をクリックします。



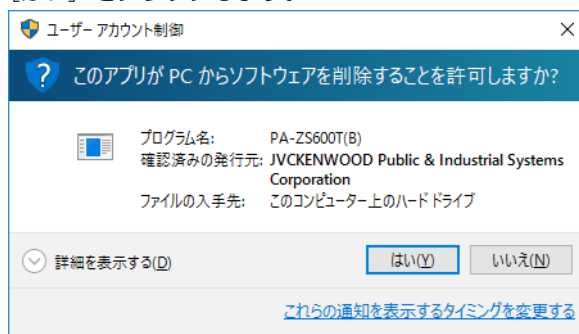
### 3 アンインストールを開始する

「アンインストール」をクリックして、アンインストールを開始します。



## 4 PC からソフトウェアを削除することを許可する

「ユーザーアカウント制御の設定」により、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がありますので、「はい」をクリックします。



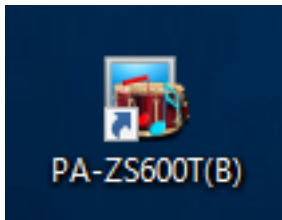
## 5 アンインストールを完了する

しばらくするとアンインストールが完了します。

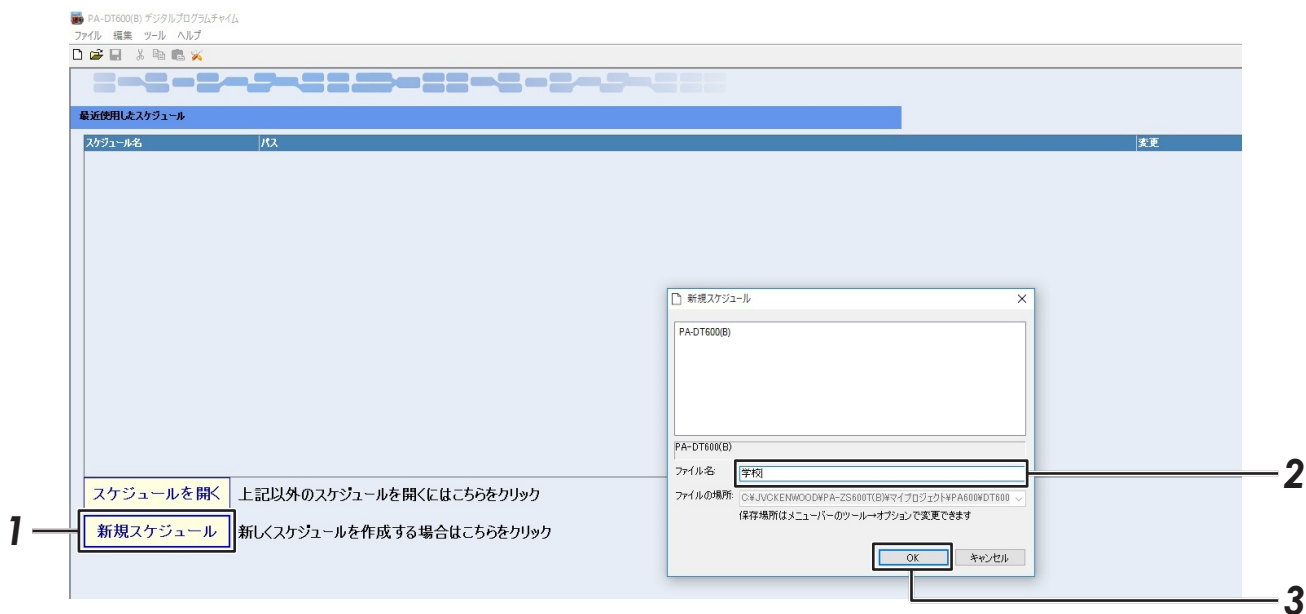
## タイマースケジュール設定ソフトを起動する

以下のどれかの方法で PA-ZS600T(B) を起動し、スケジュールを作成します。

- デスクトップの [PA-ZS600T(B)] アイコンをダブルクリックする。



- Windows のアプリの一覧（プログラムの一覧）の [PA-ZS600T(B)] をクリックする。  
 Windows 7 の場合は、[スタート] メニュー → [すべてのプログラム] → [PA-ZS600T(B)]  
 Windows 8.1 の場合は、[スタート] → [アプリ] → [PA-ZS600T(B)]  
 Windows 10 の場合は、[スタート] メニュー → [PA-ZS600T(B)]



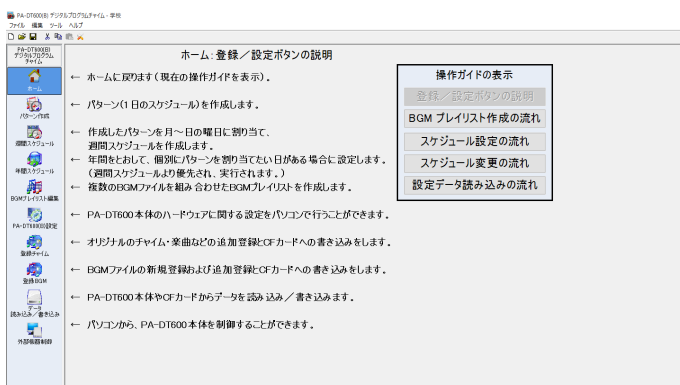
### 1 [新規スケジュール] をクリックする

新規スケジュール画面が表示されます。

### 2 ファイル名（スケジュール）を入力する

### 3 [OK] をクリックする

ファイル名（スケジュール）が決定され、ホーム画面が表示されます。



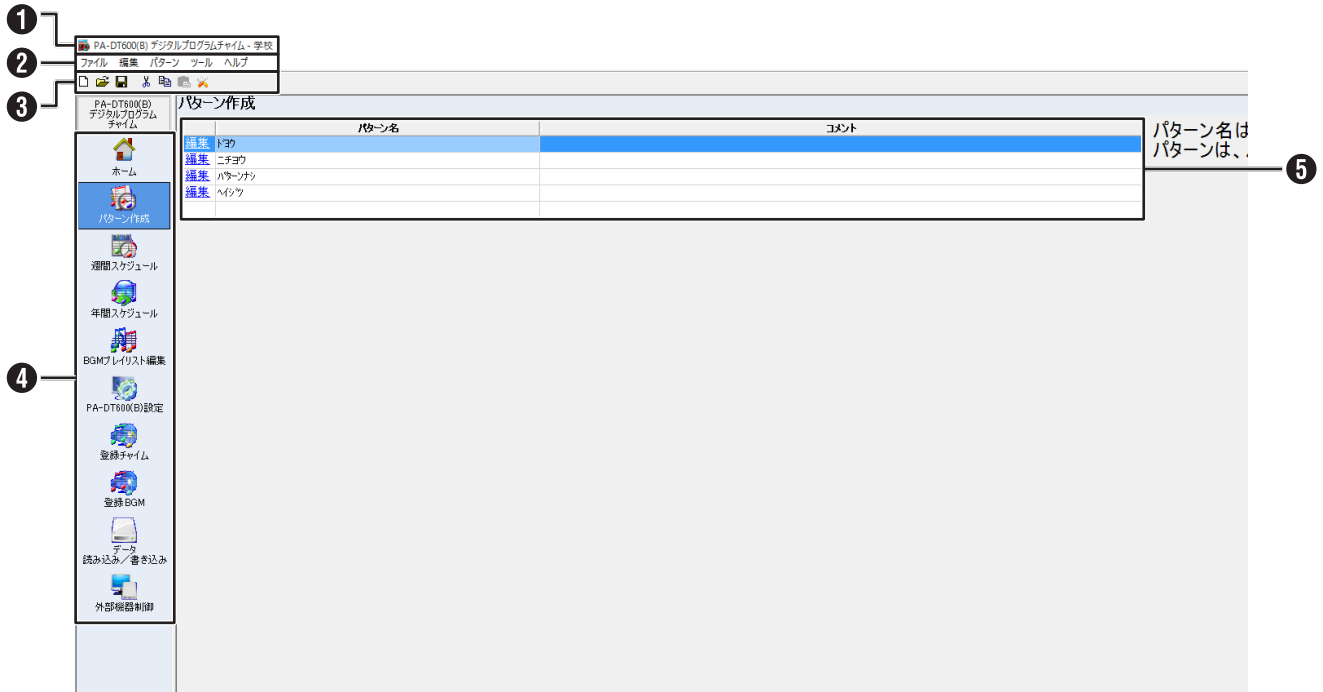
ご注意：

- 過去のバージョン（Ver. 3 以前）で作成されたスケジュールを開くことはできません。

# アプリケーションの概要

本ソフトでは、大きく分けて以下の作業ができます。

スケジュール設定、PA-DT600(B) 本体に関する設定、新規チャ임ファイルや BGM ファイルの登録、BGM プレイリストの作成、PC による PA-DT600(B) 本体の制御の 5 種類です。



※ 画面は「パターン作成」をクリックした場合です。

## ① タイトルバー

開いているスケジュール名が表示されます。

## ② メニューバー

操作に必要なメニューを表示します。

## ③ ツールバー

一部の機能をアイコン表示します。

## ④ 登録 / 設定キー

- ホーム  
各登録／設定ボタンの機能説明がヘルプ表示されます。  
「操作ガイドの表示」の項目をクリックすると、操作の流れがヘルプ表示されます。
- パターン作成  
パターン（1日のスケジュール）を設定する場合にクリックします。（☞ 15 ページ）
- 週間スケジュール  
1 週間のスケジュールを設定する場合にクリックします。（☞ 18 ページ）
- 年間スケジュール  
1 年間のスケジュールを設定する場合にクリックします。（☞ 19 ページ）
- BGM プレイリスト編集  
BGM ファイルからミュージック・プレイリストを作成する場合にクリックします。（☞ 27 ページ）

- PA-DT600(B) 設定  
リレー名称設定、デバイス設定、機能キー設定など、PA-DT600(B) 本体に関する項目の設定をする場合にクリックします。（☞ 21 ページ）
- 登録チャ임  
PA-DT600(B) 本体に添付の CF カードに入っているチャ임とは別に、任意のチャ임을登録する場合にクリックします。（☞ 23 ページ）
- 登録 BGM  
WAV ファイル、JAV ファイルを BGM ファイルとして、PA-DT600(B) 本体に登録する場合にクリックします。（☞ 25 ページ）
- データ読み込み / 書き込み  
PA-DT600(B) 本体または CF カードライター / リーダーを使用して、PA-DT600(B) 本体で設定したデータを PC に読み込んだり、PC で設定したデータを CF カードに書き込むことができます。（☞ 29 ページ）
- 外部機器制御  
PA-DT600(B) 本体を、PC から操作する場合にクリックします。（☞ 32 ページ）

## ⑤ 登録 / 設定画面表示エリア

選択した登録 / 設定キー（④）のメニュー画面が表示されるエリアです。

### スケジュール設定の流れ

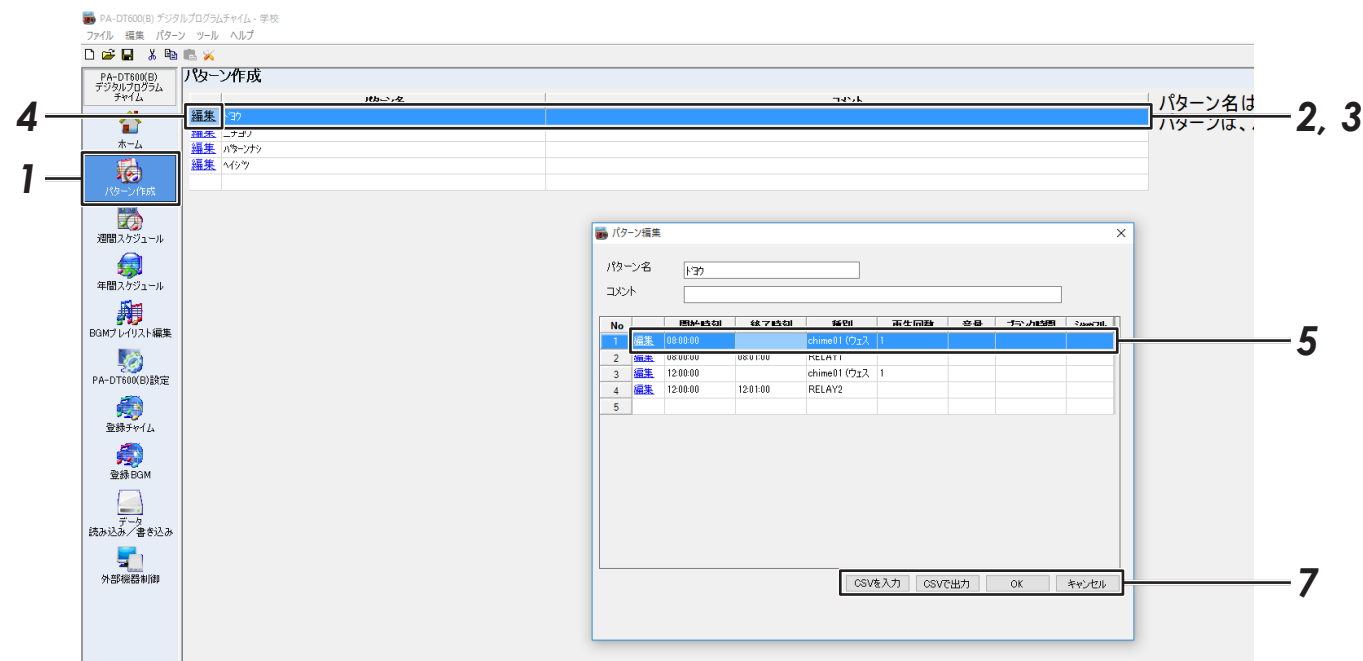
スケジュール設定の流れに沿って、週間、年間スケジュールの計画を立ててから設定してください。



# 1 日のスケジュールを設定する

全スケジュールの基本となるパターンを設定します。

ステップ（1 つの動作）を組み合わせ、パターン（1 日のスケジュール）を作成します。



## 1 「パターン作成」をクリックする

パターン作成画面が表示されます。

## 2 「パターン名」 / 「コメント」の欄をダブルクリックし、入力する

パターン名を入力します。必要に応じてコメントも入力できます。

- ・パターン名の例：ヘイジツ、ドヨウビ、キュウジツ、シュクジツ

メモ： \_\_\_\_\_

- パターン名は半角 8 文字、コメントは半角 16 文字まで入力できます。  
使用できる文字は、半角英数字と半角カナ、および以下の記号です。  
-!\$%&()^\_{}~
- コメントの内容は本体に転送されません。
- 設定を保存するとパターン名称で整列されます。
- 「パターンナシ」は年間スケジュールの設定で使用します。（P. 19 ページ）  
必要がなければ、編集しないでください。

## 3 [ENTER] を押す

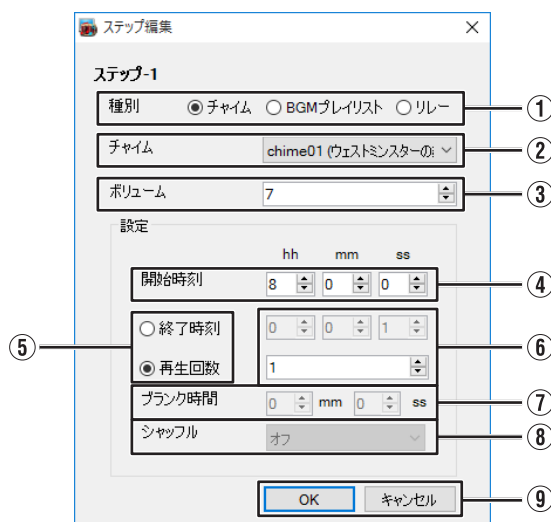
## 4 「編集」をクリックする

パターン編集画面が表示されます。

## 5 ステップ欄をダブルクリックする

ステップ編集画面が表示されます。

## 6 ステップを編集する



ご注意： \_\_\_\_\_

- 各数値は最大値より大きな値を入力することができますが、この場合は最大値が設定されます。



## スケジュールの設定

- ① 開始時刻に動作させる機能を、以下から選択します。
- チャイム : CF カードに保存されているチャイムファイルを再生します。  
(→「チャイムを選択した場合の手順」)
- BGM プレイリスト : CF カードに保存されている BGM プレイリストを再生します。  
(→「BGM プレイリストを選択した場合の手順」)
- リレー : PA-DT600(B) 本体背面の制御出力 1 ～ 8 端子に接続された機器を起動します。  
(→「リレーを選択した場合の手順」)

### ● チャイムを選択した場合の手順

- ② 再生するチャイムファイルを選択します。  
[設定値 : chime01 ～ chime99]
- ③ チャイムの再生音量を設定します。(チャイム固有の音量です。ステップごとに別々の音量を設定することはできません。)  
[ボリューム : 0 ～ 9]
- ④ 開始時刻を入力します。
- ⑤ 再生の終了を、終了時刻で指定するか、再生回数で指定するかを選択します。
- ⑥ 終了時刻を選択した場合、終了時刻を入力します。再生回数を選択した場合、何回繰り返し再生するかを設定します。  
[再生回数 : 1 ～ 99]
- ⑦ 選択できません。
- ⑧ 選択できません。
- ⑨ 設定が終了したら [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ステップ編集画面が閉じます。

### ● BGM プレイリストを選択した場合の手順

- ② 再生する BGM プレイリストを選択します。
- ③ BGM の再生音量を設定します。(BGM 固有の音量です。ステップごとに別々の音量を設定することはできません。)  
[ボリューム : 0 ～ 9]
- ④ 開始時刻を入力します。
- ⑤ 再生の終了を、終了時刻で指定するか、再生回数で指定するかを選択します。
- ⑥ 終了時刻を選択した場合、終了時刻を入力します。再生回数を選択した場合、何回繰り返し再生するかを設定します。  
[再生回数 : 1 ～ 99]
- ⑦ 再生回数を 2 回以上に設定した場合のみ、BGM 間の時間を設定します。  
[インターバル時間 : 00 mm 00 ss ～ 99 mm 00 ss、10 ss 単位]
- ⑧ BGM プレイリストに登録されている BGM ファイルをランダムに再生するかを設定します。
- ⑨ 設定が終了したら [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ステップ編集画面が閉じます。

### ● リレーを選択した場合の手順

- ② 起動するリレーを選択します。  
[リレー : 1 ～ 8]
- ③ 選択できません。
- ④ 開始時刻を入力します。
- ⑤ 選択できません。
- ⑥ 終了時刻を入力します。
- ⑦ 選択できません。
- ⑧ 選択できません。

メモ :

- リレーを選択した場合、[再生回数] はグレー表示され、選択できません。[終了時刻] のみが表示されます。
- 開始時刻と終了時刻の間は 2 秒以上にしてください。

- ⑨ 設定が終了したら [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ステップ編集画面が閉じます。

## 7 すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

メモ :

- パターン編集画面の 1 行が 1 ステップを表します。
- 設定できるパターンとステップの最大数は以下のとおりです。
  - パターン : 最大 99
  - ステップ : 1 パターンにつき最大 999 行 (合計 4000 行)
- CSV ファイルを利用することで、設定を一括変更できます。過去のバージョン (Ver. 3 以前) で作成された CSV ファイルを取り込むことはできません。
- [CSV で出力] をクリックすると、パターンの内容を CSV ファイル形式で出力できます。
- [CSV を入力] をクリックすると、保存済みの CSV ファイルを取り込んで表示します。過去のバージョン (Ver. 3 以前) で作成された CSV ファイルを取り込むことはできません。

# 1 日のスケジュールを設定する（つづき）

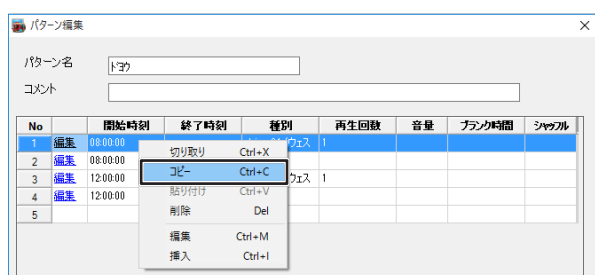
## ■ ステップをコピーする

パターン編集画面で、ステップをコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です。

### 1 コピーする欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

### 2 [コピー] をクリックする



### 3 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

### 4 [貼り付け] を選択する



ステップがコピーされます。このとき、同じ時間に同じステップが2つ存在するので、ステップの欄が緑色とピンク色で点滅表示されます。



### 5 コピーしたステップの内容を変更する

このとき、点滅表示されなくなったことを確認してください。

点滅表示のまま設定を終えると、点滅表示中のステップは動作しません。

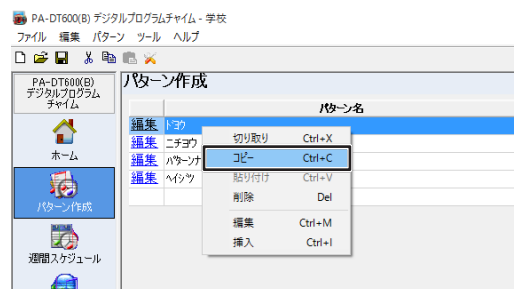
## ■ パターンをコピーする

パターン作成画面で、パターンをコピーすることができます。同じようなパターンを設定する場合に便利です。

### 1 コピーする欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

### 2 [コピー] をクリックする

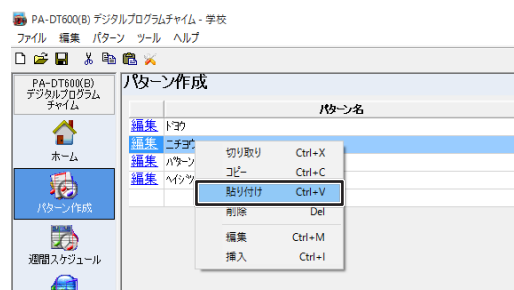


### 3 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

### 4 [貼り付け] を選択する

パターンがコピーされます。このとき、パターン名は自動的に貼り付けられます。

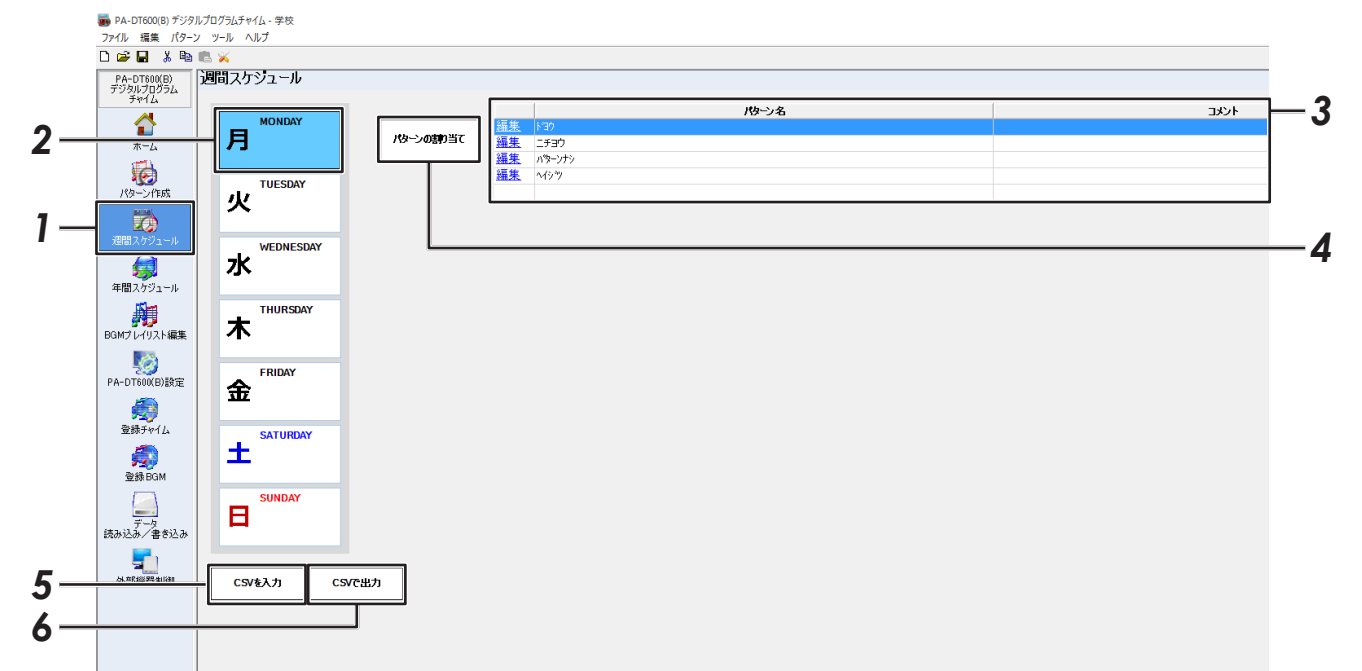


### 5 パターン名、内容を変更する

必要に応じ、パターン名や内容を変更します。

# 週間スケジュールを設定する

作成したパターン（1 日のスケジュール）を月～日の曜日に当てはめ、週間スケジュールを作成します。

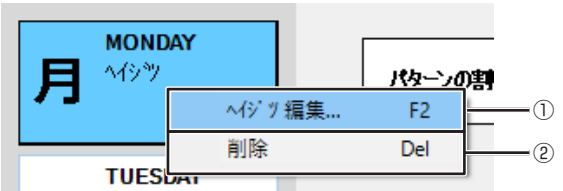


- 1 [週間スケジュール] をクリックする  
週間スケジュール作成画面が表示されます。
- 2 曜日キーを選択する  
選択された曜日キーは青く表示されます。
- 3 選択した曜日に割り当てるパターンを選択する  
パターン作成 (15 ページ) で設定した [パターン名] と [コメント] が表示されています。

メモ： \_\_\_\_\_  
● [編集] をクリックすると、パターン編集画面が表示され、パターンの編集を行うこともできます。

- 4 [パターンの割り当て] をクリックする  
選択したパターンが割り当てられ、曜日キーの中にパターン名が表示されます。

メモ： \_\_\_\_\_  
● スケジュールの割り当てが完了したあと、曜日キーを右クリックすると、以下の項目が表示されます。



- ① クリックすると、パターン編集画面が表示され、パターンの編集ができます。(15 ページ)
- ② クリックすると、設定したパターンがキャンセルされます。

- 5 CSV ファイルを入力する (必要な場合)  
[CSV を入力] をクリックすると、CSV ファイルを取り込んで表示します。過去のバージョン (Ver. 3 以前) で作成された CSV ファイルを取り込むことはできません。
- 6 CSV ファイルを出力する (必要な場合)  
[CSV で出力] をクリックすると、週間スケジュールの内容を CSV ファイル形式で出力できます。

メモ： \_\_\_\_\_  
● CSV ファイルを利用することで、設定を一括変更できます。過去のバージョン (Ver. 3 以前) で作成された CSV ファイルを取り込むことはできません。

# 年間スケジュールを設定する

年間スケジュールは、年間をとおして、個別にパターン（1日のスケジュール）を割り当てたい日がある場合に設定します。年間スケジュールで割り当てられたパターンは、週間スケジュールで同じ日に割り当てられたパターンよりも優先して実行されます。

年間スケジュールは1年分設定できます。2年分、3年分まとめた設定はできません。

年度が替わったら、年間スケジュールの見直しと修正を行なってください。



## 1 年間スケジュールをクリックする

年間スケジュール作成画面が表示されます。

## 2 年月を設定する

設定開始年月をプルダウンメニューから選択し、[移動]をクリックします。

4ヶ月分のカレンダーが表示されます。

## 3 特別なパターンを割り当てたい日を選択する

選択した日付が、グレーで表示されます。複数選択も可能です。

## 4 割り当てるパターンを選択する

割り当てたいパターンを選択してください。

メモ：

- [編集] をクリックすると、パターン編集画面が表示され、パターンの編集を行うこともできます。  
(P. 15 ページ)  
また、ここでパターンを作成することもできます。
- 「パターンナシ」を割り当てると、当日のパターンを停止させることができます。

## 5 パターンの割り当てをクリックする

選択したパターンが割り当てられ、日付の下にパターン名が表示されます。

メモ：

- 年間スケジュールの割り当てが完了したあと、パターンを割り当てた日付を右クリックすると、以下の項目が表示されます。

27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

① 編集... F2

② 削除 Del

① クリックすると、パターン編集画面が表示され、パターンの編集ができます。

② クリックすると、設定がキャンセルされます。

## 6 CSV ファイルを入力する（必要な場合）

[CSV を入力] をクリックすると、CSV ファイルを取り込んで表示します。過去のバージョン（Ver. 3 以前）で作成された CSV ファイルを取り込むことはできません。

### 7 CSV ファイルを出力する（必要な場合）

「CSV で出力」をクリックすると、年間スケジュールの内容を CSV ファイル形式で出力できます。

メモ： \_\_\_\_\_

- CSV ファイルを利用することで、設定を一括変更できます。過去のバージョン（Ver. 3 以前）で作成された CSV ファイルを取り込むことはできません。
- 

### 設定を保存する

本ソフトで、スケジュールの作成・変更や設定の変更を行なったら、必ず保存するようにしてください。

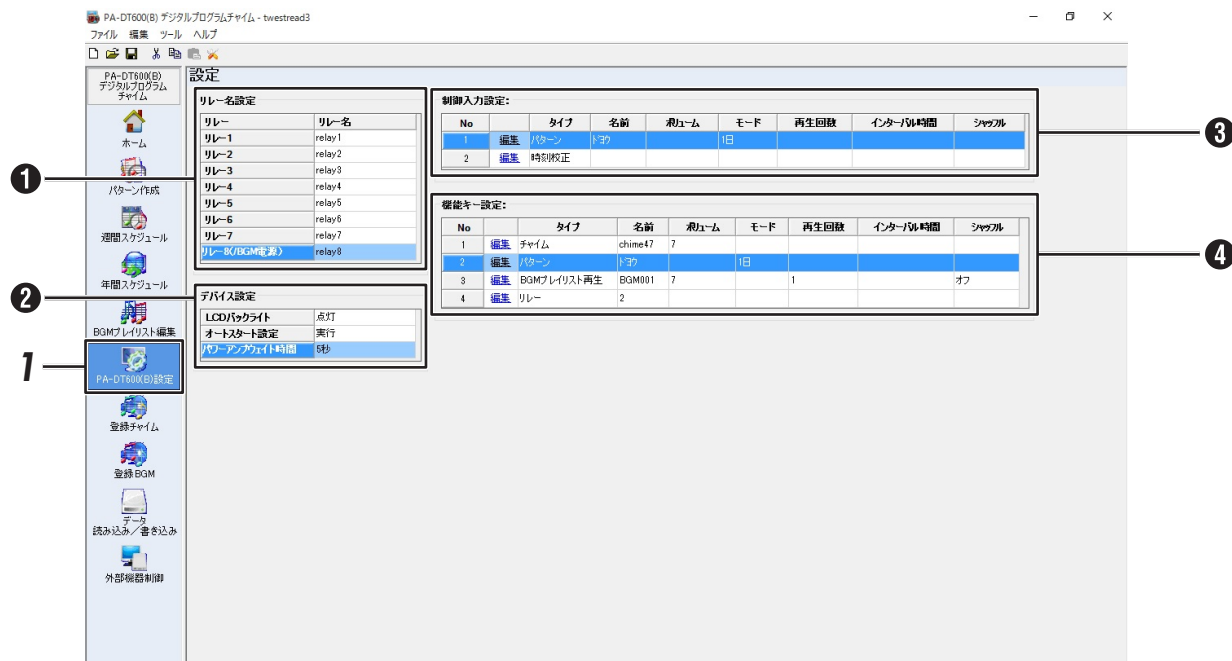
スケジュールファイルの保存は、「ファイル」メニューの「上書き保存」を選択します。

メモ： \_\_\_\_\_

- スケジュール編集中に登録／設定キーを切り換えると、「変更を保存しますか？」とダイアログが表示される場合があります。必要に応じて保存してください。
-

## 本体の設定

本体のハードウェアに関する設定を PC で行うことができます。



### 1 [PA-DT600(B) 設定] をクリックする

設定画面が表示されます。

### 2 設定したい項目を編集する

#### ① リレー名設定

名称をクリックして、PA-DT600(B) 本体背面の制御出力 1 ～ 8 端子に接続された被制御機器（アンプなど）の名称を入力します。

メモ： \_\_\_\_\_

- リレー名は半角 8 文字まで入力できます。  
使用できる文字は、半角英数字と半角カナ、および以下の記号です。  
-!\$%&()^\_{}

#### ② デバイス設定

##### ● LCD バックライト

PA-DT600(B) 本体の LCD 画面のバックライトの設定を行います。

- ・点灯：常にバックライトを点灯します。
- ・消灯：常にバックライトを消灯します。
- ・キー連動：ボタンを押すと、30 秒間点灯し、その後消灯します。

メモ： \_\_\_\_\_

- 「消灯」に設定した場合でも、以下の状態になるとバックライトが点灯します。
  - スケジュール実行中に PA-DT600(B) 本体の【戻る／停止】を押したとき
  - メインメニュー画面を表示したとき
  - PC との通信を開始したとき

##### ● オートスタート設定

電源を入れ直した場合のスケジュールの実行状態を設定します。

- ・継続：電源を入れると、自動的に電源を切る前のスケジュール状態に戻ります。
- ・停止：電源を入れると、スケジュール停止状態になります。
- ・実行：電源を入れると、自動的にスケジュール実行状態になります。

##### ● パワーアンプウェイト時間

チャイムや BGM などを、本機に接続したアンプから出力する場合、チャイムや BGM が出力される前にアンプの電源を ON にすることができます。  
0 ～ 99 秒まで、1 秒単位で設定できます。



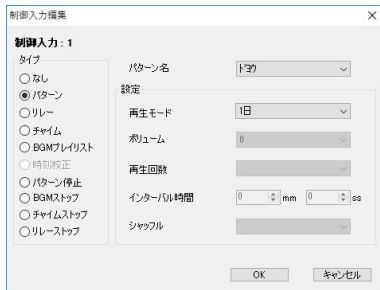
## その他の設定

### ③ 制御入力設定

#### ● 制御入力 1 / 制御入力 2

PA-DT600(B) 本体背面の制御入力 1 / 制御入力 2 端子に接続された機器からの信号を受信したときの動作を割り当てます。

- ① 「制御入力設定」の「編集」をクリックする
- ② 割り当てたい機能を設定する



- なし：  
機能を割り当てません。

- パターン：  
入力があると、設定されたパターン（1 日のスケジュール）で動作します。パターンと再生モードが設定でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。  
再生モード設定で「1 日」を選択すると、翌日自動的に解除されます。「2 日」を選択すると、翌々日自動的に解除されます。手動で解除したい場合は「継続」を選択します。
  - [パターン名：作成済パターン]
  - [再生モード：1 日 / 2 日 / 継続]

- リレー：  
入力があると、選択した PA-DT600(B) 本体背面の制御出力 1 ～ 8 端子に接続された機器が起動します。端子は選択でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
  - [リレー：1 ～ 8]

- チャイム：  
入力があると、設定されたチャイムファイルを再生します。チャイムの種類と音量が選択でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
  - [チャイム：chime01 ～ chime99]
  - [ボリューム：0 ～ 9]

（チャイム固有の音量です。制御入力、機能キーごとに別々の音量を設定することはできません。）

- BGM プレイリスト：  
入力があると、設定された BGM プレイリストを再生します。プレイリストの選択、音量、再生回数、インターバル時間、シャッフルの ON / OFF が設定でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
  - [プレイリスト No：BGM001 ～ BGM499]
  - [ボリューム：0 ～ 9]

（BGM 固有の音量です。制御入力、機能キーごとに別々の音量を設定することはできません。）

  - [再生回数：エンドレス、1 ～ 99]
  - [インターバル時間：00 mm 00 ss ～ 99 mm 00 ss、10 ss 単位]
  - [シャッフル：ON / OFF]

- 時刻校正（制御入力 2 のみ）：  
入力があると、時刻修正を行います。
- パターン停止：  
入力があると、設定されたパターンを停止します。
- BGM ストップ：  
入力があると、設定された BGM プレイリストを停止します。
- チャイムストップ：  
入力があると、設定されたチャイムを停止します。

- リリーストップ：  
入力があると、選択した PA-DT600(B) 本体背面の制御出力 1 ～ 8 端子に接続された機器を停止させます。

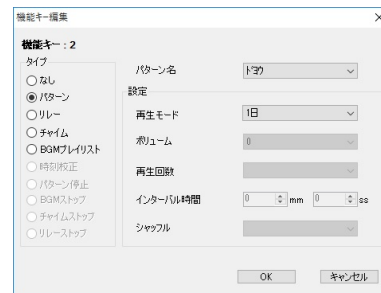
- ③ すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

### ④ 機能キー設定

#### ● 機能キー 1 ～ 4

PA-DT600(B) 本体前面の【機能 1】～【機能 4】を押したときの機能を割り当てます。

- ① 「機能キー設定」の「編集」をクリックする
- ② 割り当てたい機能を設定する



- なし：  
機能キーに機能を割り当てません。

- パターン：  
機能キーを押すと、設定されたパターン（1 日のスケジュール）で動作します。  
パターンと再生モードが設定でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。  
再生モード設定で「1 日」を選択すると、翌日自動的に解除されます。「2 日」を選択すると、翌々日自動的に解除されます。手動で解除したい場合は「継続」を選択します。
  - [パターン名：作成済パターン]
  - [再生モード：1 日 / 2 日 / 継続]

- リレー：  
機能キーを押すと、選択した PA-DT600(B) 本体背面の制御出力 1 ～ 8 端子に接続された機器が起動します。端子は選択でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
  - [リレー：1 ～ 8]

- チャイム：  
機能キーを押すと、設定されたチャイムを再生します。チャイムと音量が選択でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
  - [チャイム：chime01 ～ chime99]
  - [ボリューム：0 ～ 9]

（チャイム固有の音量です。制御入力、機能キーごとに別々の音量を設定することはできません。）

- BGM プレイリスト：  
機能キーを押すと、設定された BGM プレイリストを再生します。  
プレイリストの選択、音量、再生回数、インターバル時間、シャッフルの ON / OFF が設定でき、項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
  - [プレイリスト No：BGM001 ～ BGM499]
  - [ボリューム：0 ～ 9]

（BGM 固有の音量です。制御入力、機能キーごとに別々の音量を設定することはできません。）

  - [再生回数：エンドレス、1 ～ 99]
  - [インターバル時間：00 mm 00 ss ～ 99 mm 00 ss、10 ss 単位]
  - [シャッフル：ON / OFF]

- ③ すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

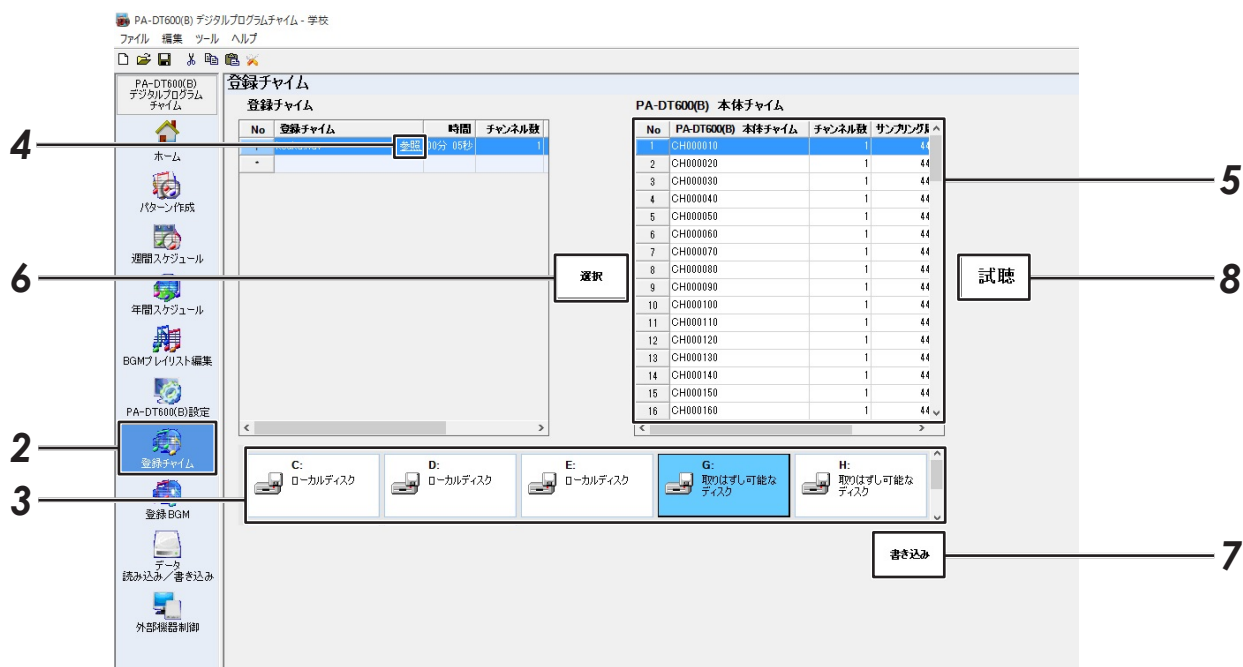


# 新規チャイムファイルの登録および試聴

工場出荷時には 01 から 46 番までのチャイム・楽曲が入っていますが、お客様オリジナルのチャイム・楽曲（例えばお客様の学校の「校歌」など）を追加登録することが可能です。

なお、再生するチャイム・楽曲は登録チャイムの処理を行い、PA-DT600(B) 本体で再生可能な形式に変換する必要があります。

以下に「校歌」を新規に登録する例と、チャイム・楽曲の試聴方法を説明します。



ご注意：

- お客様が新規チャイムファイルとして新たな楽曲を追加登録する場合には、その楽曲の著作権者などの使用許諾を得る必要があります。
- 新規チャイムファイルを登録する場合は、CF カード（デジタルチャイムカード）を挿入した CF カードライター／リーダーを PC に接続する必要があります。

## 1 「校歌」のオーディオファイルを用意する

あらかじめ市販のオーディオ編集ツールなどを使用し、録音した校歌をリニア PCM の wave 形式のファイルとして PC 上に保存しておきます。([kouka.wav] で保存)

メモ：

- wave 形式のファイルフォーマットは以下のどれかである必要があります。
  - (1) サンプル周波数 44.1 kHz モノラル 16 ビット
  - (2) サンプル周波数 22.05 kHz モノラル 16 ビット
  - (3) サンプル周波数 22.05 kHz ステレオ 16 ビット

## 2 「登録チャイム」をクリックする

登録チャイム画面が表示されます。

## 3 CF カードドライブを選択する

PA-DT600(B) 本体の CF カードを取り出し、PC のカードリーダー／ライターに挿入し、CF カードドライブを選択します。（例では G ドライブ）

CF カードドライブを選択すると「PA-DT600 本体チャイム」に CF カード内のチャイムファイルのリストが表示されます。

## 4 「登録チャイム」の「参照」をクリックし、kouka.wav ファイルを選択する

[kouka] が登録画面上に表示されます。

登録チャイム			
No.	登録チャイム	時間	チャンネル数
1	kouka.wav	参照 00分 05秒	1
-			

## 5 チャイム No. を指定する

「PA-DT600 本体チャイム」で登録したい番号を選択します。（例では 47 番を選択）

PA-DT600(B) 本体チャイム			
No.	PA-DT600(B) 本体チャイム	チャンネル数	
45	CH000450	1	
46	CH000460	1	
47			

メモ：

- 工場出荷時は 46 番までチャイム・楽曲が入っています。上書き登録をしたくない場合は 47 番～99 番をご使用ください。

## 6 「選択」をクリックする

No.47 に [kouka] が登録されます。

PA-DT600(B) 本体チャイム		
No	PA-DT600(B) 本体チャイム	チャンネル数
45	CH000450	1
46	CH000460	1
47	kouka.wav	1
48		

## 7 「書き込み」をクリックする

ファイル形式およびファイル名の変換と、書き込みが実行されます。(例では CH000470.jav に変換されます。)

メモ： \_\_\_\_\_

- より長時間のチャイム・楽曲を登録したい場合  
工場出荷時には、CF カードに約 5 分程度（サンプリング周波数 22.05kHz モノラルの場合）の空きがあります。これ以上の曲を追加したい場合は、使用しないチャイム・楽曲を削除するか、別売のデジタルメモリーカードをご使用ください。

(5 ページ)

削除する場合は「PA-DT600 本体チャイム」よりファイルを選択して [Delete] キーを押すか、右クリックして [削除] を実行してください。

- PA-DT600(B) に同梱の CD-ROM の JVCCHIME フォルダー内にあるチャイム音源について  
PA-DT600(B) 本体での再生以外の目的で利用しないでください。著作権法により禁止されています。また、No.25 [小さな世界]、No.33 [ラジオ体操第一] は著作権の関係上 CD-ROM には収録されていません。
- CF カードの音源について  
複製やバックアップは決して行わないでください。著作権法により禁止されています。
- 誤って CF カードのチャイム音源ファイルを消してしまったら  
JVCCHIME フォルダーのチャイム音源をコピーして使用してください。  
その場合、No.25 [小さな世界]、No.33 [ラジオ体操第一] は収録されていませんので、ご注意ください。

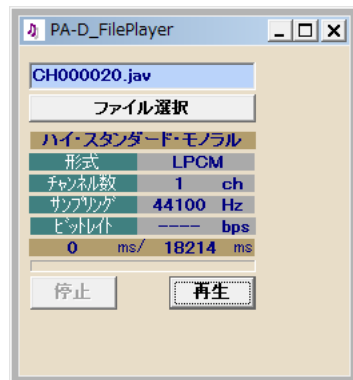
## ■ チャイム・楽曲の試聴

### 1 ファイルを選択する

CF カード内の、「PA-DT600 本体チャイム」(23 ページ図の 5) から再生するファイルを選択します。

### 2 試聴する

[試聴] (23 ページ図の 8) をクリックすると [PA-D\_FilePlayer] が起動します。



ここで [再生] をクリックすると、再生を開始します。[ファイル選択] をクリックすると再生するファイルを切り換えることができます。

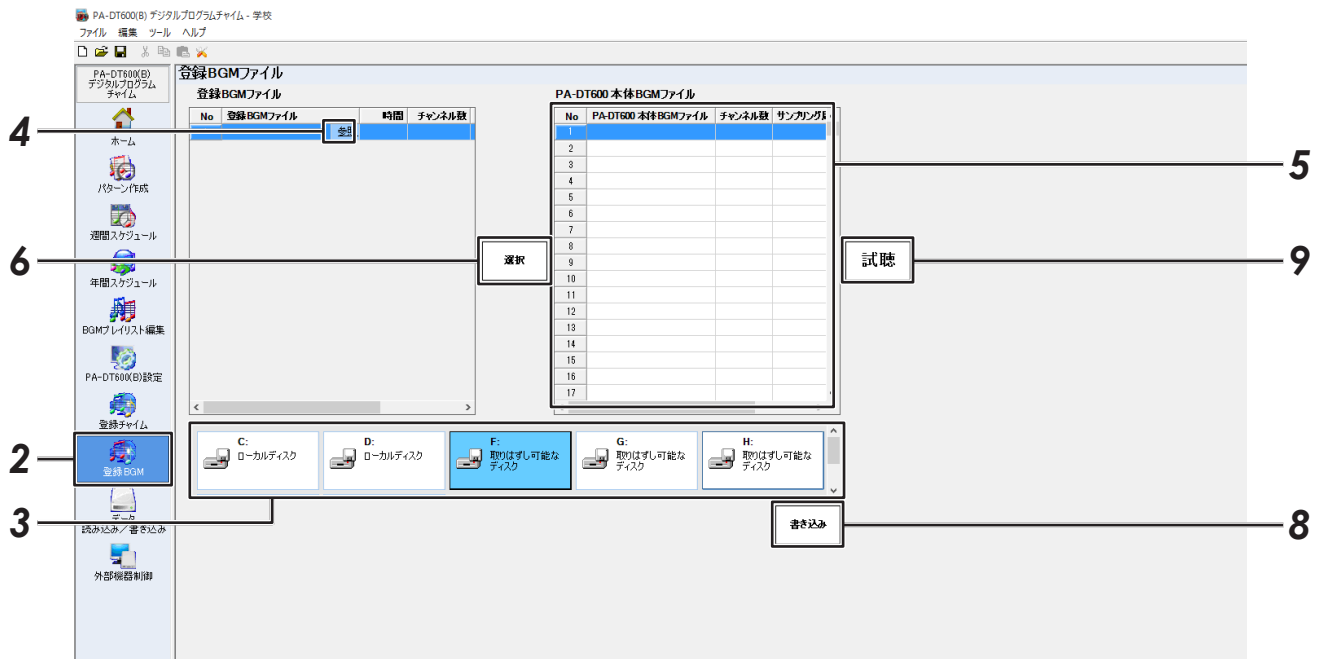
メモ： \_\_\_\_\_

- 再生できるのは、PA-DT600(B) 用に変換してあるファイル (.jav) のみです。

試聴が終了したら [PA-D\_FilePlayer] を終了してください。

# 新規 BGM ファイルの登録および試聴

パソコンで作成した BGM ファイルの新規および追加登録と CF カードへの書き込みをします。



ご注意：

- 新規 BGM ファイルを登録する場合は、CF カード（デジタルチャームカード）を挿入した CF カードライター／リーダーを PC に接続する必要があります。

## 1 BGM ファイルを用意する

あらかじめ市販のオーディオ編集ツールなどを使用し、新規 BGM を WAV ファイル、または JAV ファイルで PC 上に保存しておきます。

メモ：

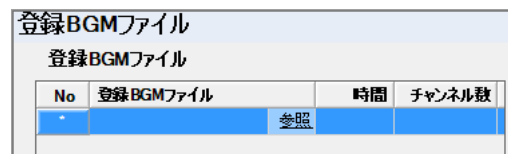
- ファイルフォーマットは以下のどれかである必要があります。
  - (1) サンプリング周波数 44.1 kHz モノラル 16 ビット
  - (2) サンプリング周波数 22.05 kHz モノラル 16 ビット
  - (3) サンプリング周波数 22.05 kHz ステレオ 16 ビット

## 2 「登録 BGM」 をクリックする

## 3 CF カードドライブを選択する

PA-DT600(B) 本体の CF カードを取り出し、PC のカードリーダー／ライターに挿入し、CF カードドライブを選択します。（例では F ドライブ）  
CF カード内に BGM ファイルがある場合は、リスト表示されます。

## 4 「登録 BGM ファイル」の[参照]をクリックし、新規 BGM ファイルを選択する



選択したファイルが登録画面上に表示されます。

## 5 「PA-DT600 本体 BGM ファイル」で登録先の BGM ファイル欄を選択する

## 6 「選択」をクリックする

登録先 BGM ファイル欄に、ファイル名が表示されます。

## 7 手順 4 ～ 6 を繰り返し、すべての登録を終了する

メモ：

- ローカルディスク等に BGM ファイルを保存したい場合は、保存したいディスクのルートディレクトリ内に「BGM」フォルダーを作成してください。

8 「書き込み」をクリックする

「PA-DT600 本体 BGM ファイル」の内容を CF カードに書き込みます。

メモ： \_\_\_\_\_

- 「PA-DT600 本体 BGM ファイル」の内容を CF カードに書き込むときに、ファイル形式を \*.jav に変更します。
- PA-DT600(B) 本体の LCD 画面には、以下のように表示されます。

No.	変更後ファイル名	PA-DT600(B) 本体 LCD 表示
1	BG000010.jav	B001
2	BG000020.jav	B002
999	BG009990.jav	B999

- より長時間の BGM ファイルを登録したい場合  
工場出荷時には、CF カードに約 5 分程度（サンプリング周波数 22.05 kHz モノラルの場合）の空きがあります。これ以上の曲を追加したい場合は、使用しないチャイム・楽曲を削除するか、別売のデジタルメモリーカードをご使用ください。  
( 5 ページ)  
削除する場合は「PA-DT600 本体 BGM ファイル」よりファイルを選択して [Delete] キーを押すか、右クリックして [削除] を実行してください。

■ BGM・楽曲の試聴

1 ファイルを選択する

CF カード内の、「PA-DT600 本体 BGM ファイル」(25 ページ図の 5) から再生するファイルを選択します。

2 試聴する

[試聴] (25 ページ図の 9) をクリックすると [PA-D\_FilePlayer] が起動します。



ここで [再生] をクリックすると、再生を開始します。  
[ファイル選択] をクリックすると再生するファイルを切り換えることができます。

メモ： \_\_\_\_\_

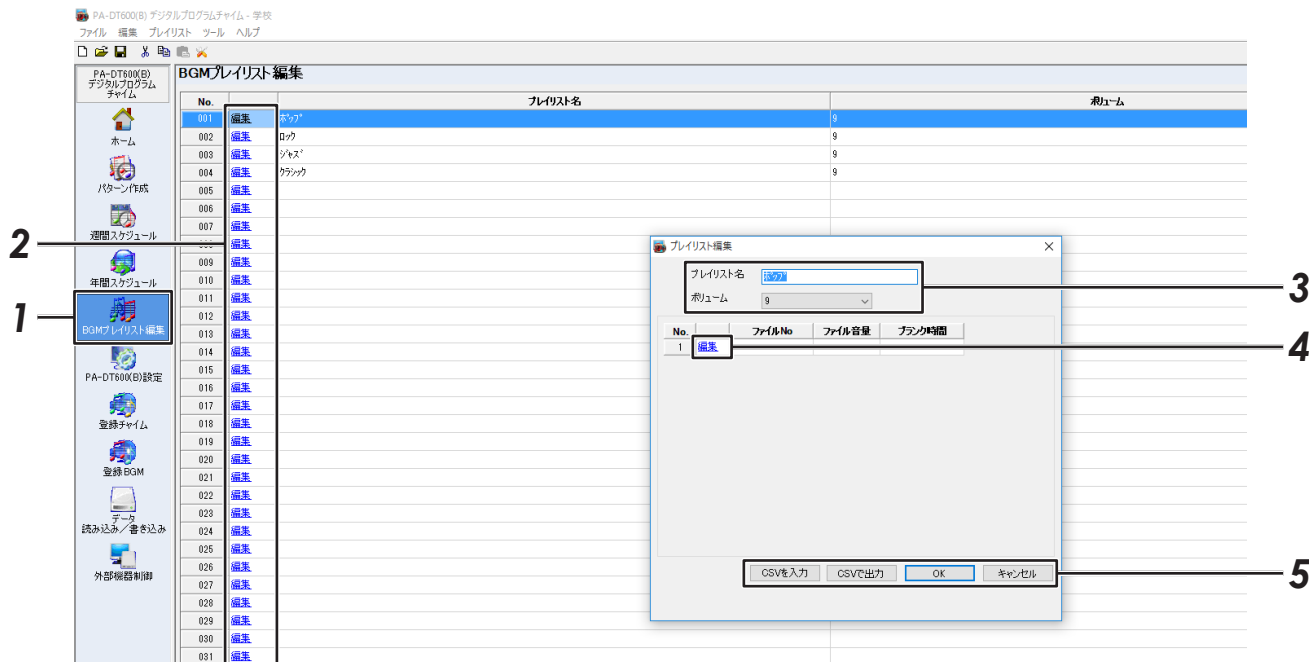
- 再生できるのは、PA-DT600(B) 用に変換してあるファイル (.jav) のみです。

試聴が終了したら [PA-D\_FilePlayer] を終了してください。

# BGM プレイリストの作成

BGM ファイルを BGM プレイリストに登録することにより、複数のミュージック（BGM ファイルに再生音量を設定したもの）を組み合わせることで放送することができます。

BGM プレイリストは最大 499 件作成でき、各プレイリストに登録できるミュージック数は最大 100 件です。



## 1 [BGM プレイリスト編集] をクリックする

BGM プレイリスト編集画面が表示されます。

## 2 [編集] をクリックする

プレイリスト編集画面が表示されます。

## 3 [プレイリスト名] / [ボリューム] の欄をクリックし、入力する

プレイリスト名を入力します。

プレイリスト名の例：ポップス、ロック、ジャズ、クラシック

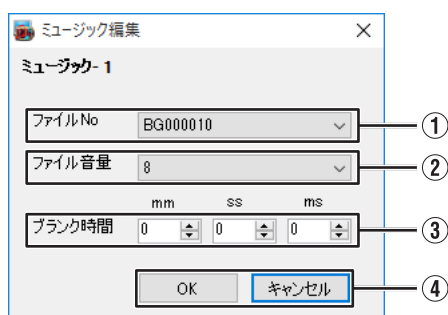
メモ：

- プレイリスト名は半角 8 文字まで入力できます。  
使用できる文字は、半角英数字と半角カナ、および以下の記号です。  
-!\$%&()^\_{}|

ボリュームはプルダウンメニューで選択してください。  
[設定値：0（音量小）～9（音量大）]

## 4 [編集] をクリックする

ミュージック編集画面が表示されます。



- ① 再生したいファイル No. を選択します。  
[設定値：BG000010～BG009990]

メモ：

- 「BG000010」は、PA-DT600(B) 本体では「B001」と表示されます。「BG009990」は「B999」と表示されます。

- ② ファイルの再生音量を選択します。  
[設定値：0（音量小）～10（音量大）]

- ③ ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク時間（間隔）を設定します。0.5 秒単位で設定できます。  
[設定値：0 分 0 秒 0～99 分 0 秒 0]

- ④ 設定が終了したら [OK] をクリックします。  
[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ミュージック編集画面が閉じます。

## 5 すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

メモ：

- CSV ファイルを利用することで、設定を一括変更できます。過去のバージョン（Ver. 3 以前）で作成された CSV ファイルを取り込むことはできません。
- [CSV で出力] をクリックすると、BGM プレイリストの内容を CSV ファイル形式で出力できます。
- [CSV を入力] をクリックすると、保存済みの CSV ファイルを取り込んで表示します。過去のバージョン（Ver. 3 以前）で作成された CSV ファイルを取り込むことはできません。

## その他の設定

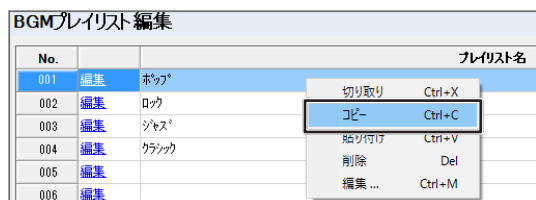
### ■ BGM プレイリストをコピーする

BGM プレイリスト編集画面で、BGM プレイリストをコピーできます。同じような動作を設定する場合に便利です。

#### 1 コピーする欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

#### 2 [コピー] をクリックする

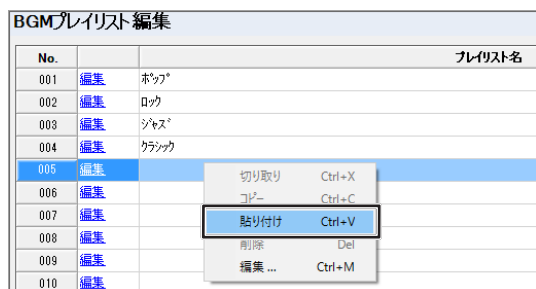


#### 3 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

#### 4 [貼り付け] を選択する

BGM プレイリストがコピーされます。



## 設定データの読み込み／書き込み

PA-DT600(B) 本体または CF カードライター／リーダーを使用して、PA-DT600(B) 本体で設定したスケジュールなどのデータを PC に取り込んで編集したり、本ソフトで設定したスケジュールなどのデータを CF カードに書き込むことができます。



### ■ PA-DT600(B) 本体を使用した場合

1 PC と PA-DT600(B) 本体を USB ケーブルで接続する (5 ページ)

2 PA-DT600(B) 本体の LCD 画面が【タイキチュウ】(待機中) になっていることを確認する

ご注意： \_\_\_\_\_

- PA-DT600(B) 本体の LCD 画面が【タイキチュウ】になっていないと、PC との通信はできません。

3 【データ読み込み／書き込み】をクリックする

データ読み込み／書き込み画面が表示されます。

ご注意： \_\_\_\_\_

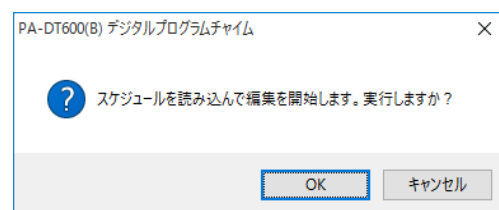
- データの読み込みを行うと、PC 側で編集中のスケジュールを閉じて、新しいスケジュールとして読み込みます。
- データの書き込みを行うと、PA-DT600(B) 本体の CF カードにあるスケジュールなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行なってください。

### 4 読み込み先、書き込み先をクリックする

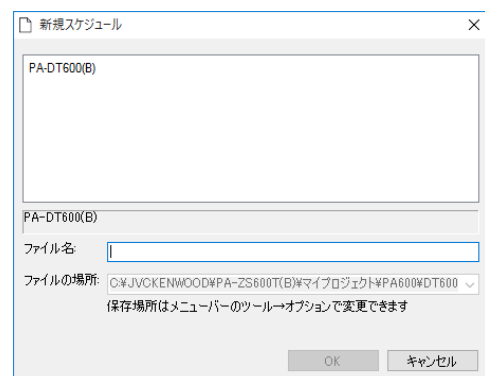
PA-DT600(B) 本体の CF カードからスケジュールなどのデータを取り込む場合は【PA-DT600(B) から読み込み】、設定したスケジュールなどのデータを本体に書き込む場合は【PA-DT600(B) へ書き込み】をそれぞれクリックします。

#### ● 「読み込み」を選択した場合

① 確認のダイアログが表示されるので、[OK] をクリックする



② ファイル名を入力し、[OK] をクリックする



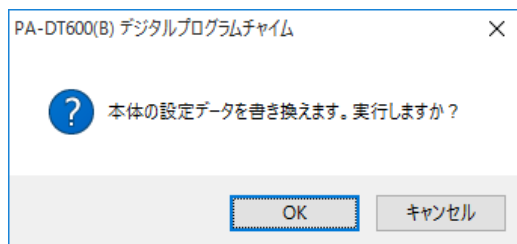
読み込んだ設定データを新規スケジュールとして開きます。



## その他の設定

### ●「書き込み」を選択した場合

- ① 確認のダイアログが表示されるので、[OK] をクリックする



現在開いているスケジュールが書き込まれます。

### ■ CF カードライター／リーダーを使用した場合

- 1 CF カードを挿入した CF カードライター／リーダーを PC に接続する
- 2 PC の【マイコンピュータ】などで、CF カードが認識されていることを確認する
- 3 【データ読み込み／書き込み】をクリックする  
データ読み込み／書き込み画面が表示されます。

ご注意：

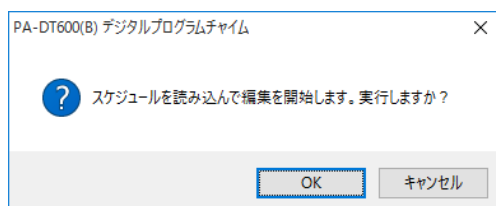
- データの読み込みを行うと、PC 側で編集中のスケジュールを閉じて、新しいスケジュールとして読み込みます。
- データの書き込みを行うと、CF カードのスケジュールなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行なってください。

### 4 CF カードリーダー／ライターの接続ドライブの【読み込み】または【書き込み】をクリックする

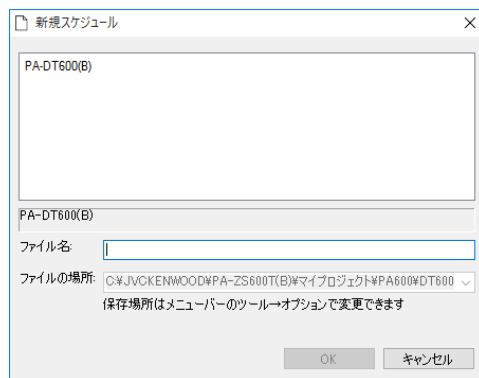
CF カードからスケジュールなどのデータを取り込む場合は【読み込み】、設定したスケジュールなどのデータを CF カードに書き込む場合は【書き込み】をそれぞれクリックします。

### ●「読み込み」を選択した場合

- ① 確認のダイアログが表示されるので、[OK] をクリックする



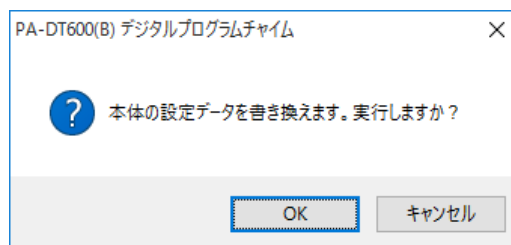
- ② ファイル名を入力し、[OK] をクリックする



読み込んだ設定データを新規スケジュールとして開きます。  
編集が終わったら、CF カードに保存します。

### ●「書き込み」を選択した場合

- ① 確認のダイアログが表示されるので、[OK] をクリックする



現在開いているスケジュールが書き込まれます。

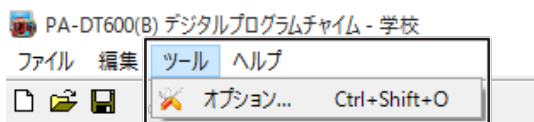
### 5 CF カードを CF カードライター／リーダーからはずし、PA-DT600(B) 本体に挿入する

## オプションの設定

### 5 [OK] をクリックする

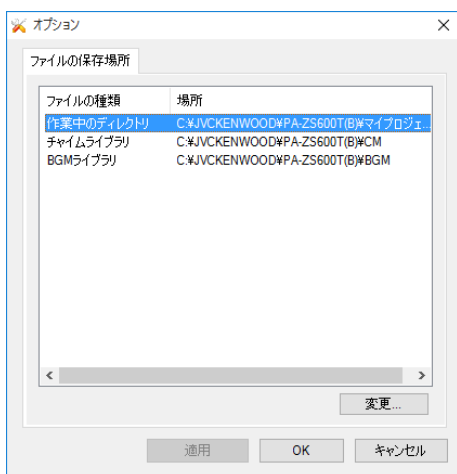
オプションの設定は、ファイルの保存場所を変更したい場合に行います。

#### 1 メニューバーの [ツール] から [オプション] を選択する



オプション画面が表示されます。

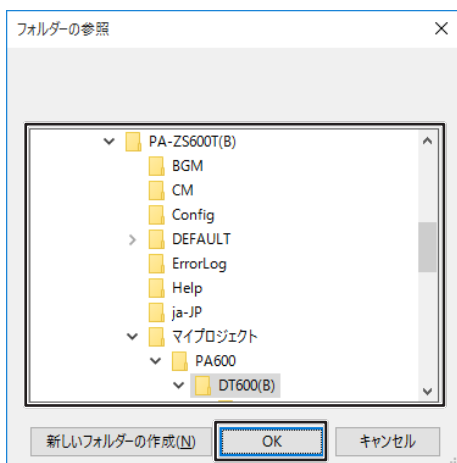
#### 2 保存場所を変更したいファイルの種類を選択する



- 作業中のディレクトリ：  
スケジュールを保存するフォルダーを変更します。
- チャイムライブラリ：  
新規チャイムの登録作業に使用するフォルダーを変更します。
- BGM ライブラリ：  
新規 BGM の登録作業に使用するフォルダーを変更します。

#### 3 [変更] をクリックする

#### 4 フォルダーを選択して [OK] をクリックする



## PC で本体を操作するには

PC から、PA-DT600(B) 本体を制御できます。

外部制御中は、PC からの操作が優先されます。PA-DT600(B) 本体のボタン操作はできません。

### 1 PC と PA-DT600(B) 本体を USB ケーブルで接続する (☞ 5 ページ)

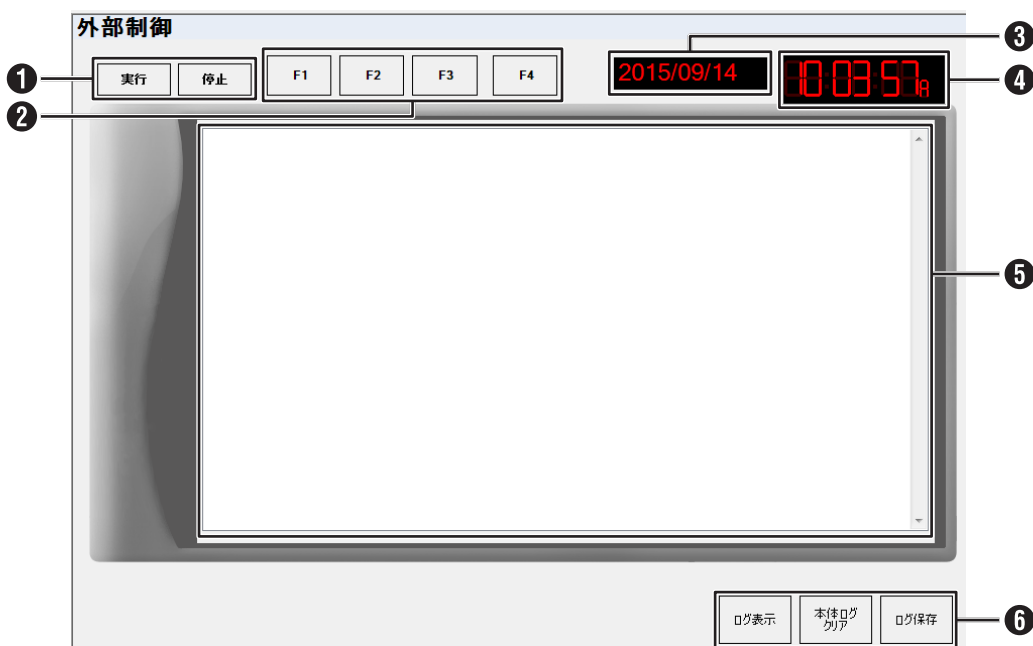
### 2 PA-DT600(B) 本体の LCD 画面がメニュー画面でないことを確認する

ご注意：

- PA-DT600(B) 本体の LCD 画面がメニュー画面の場合は、PC との通信はできません。

### 3 [外部機器制御] をクリックする

外部制御画面が表示されます。



#### ① [実行]、[停止] キー

実行：PA-DT600(B) を実行状態にします。

停止：PA-DT600(B) を停止状態にします。

メモ：

- [停止] をクリックすると、機能キー、制御入力端子の動作も停止します。

#### ② [F1] ～ [F4] キー

クリックすると、各キーに割り当てられた動作をします。

「機能キー 1 ～ 4」(☞ 22 ページ)

#### ③ 日付表示部

現在の日付が表示されます。

#### ④ 時刻表示部

PA-DT600(B) 本体の現在時刻が表示されます。

右端の [A] [P] は、それぞれ、AM (午前) / PM (午後) を表します。

#### ⑤ エラーログ表示部

[ログ表示] (⑥) をクリックすると、動作エラーの全記録 (ログ) が下記の例のように表示されます。

例) 「2016/02/03 14:22:11 エラー：(エラー内容)」

ご注意：

- 表示できるエラーログは最大 100 件です。100 件を超えると、一番古いログから消去されます。

#### ⑥ ログ操作キー

ログ表示：動作のエラーログが、エラーログ表示部 (⑤) に表示されます。

本体ログクリア：すべてのログが消去されます。

ログ保存：ログをテキストファイルに保存します。名前をつけて保存画面が表示されるので、保存場所を選択し、名前をつけて保存してください。

## よくあるご質問

症状	原因と対策
PC にアプリケーションがインストールできない	PC の動作環境を確認してください。(P. 5 ページ)
アプリケーションが起動しない	PC の動作環境を確認してください。(P. 5 ページ) 動作環境に問題がない場合は、必要なファイルが削除、または破損している可能性があります。再インストールしてください。(P. 6 ページ)
通信異常がでる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</li> <li>• PA-DT600(B) 本体の LCD がメニュー画面でないことを確認してください。</li> <li>• USB のドライバーがインストールされていることを確認してください。</li> </ul>
新規チャイムが登録できない	チャイムのフォーマットを確認ください。PA-DT600(B) で対応可能なフォーマットはリニア PCM で周波数などが、以下の 3 種類のみです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1) サンプリング周波数 44.1 kHz モノラル 16 ビット</li> <li>- (2) サンプリング周波数 22.05 kHz モノラル 16 ビット</li> <li>- (3) サンプリング周波数 22.05 kHz ステレオ 16 ビット</li> </ul>
BGM ファイルが登録できない	BGM ファイルのフォーマットを確認ください。PA-DT600(B) で対応可能な WAV ファイル、JAV ファイルのフォーマットは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1) サンプリング周波数 44.1 kHz モノラル 16 ビット</li> <li>- (2) サンプリング周波数 22.05 kHz モノラル 16 ビット</li> <li>- (3) サンプリング周波数 22.05 kHz ステレオ 16 ビット</li> </ul>

## デジタルチャイムカードのチャイム音・楽曲一覧

※デジタルチャイムカードは、工場出荷時に PA-DT600(B) 本体に挿入されている CF カードのことです。

	分類	曲名	時間
1	チャイム	ウェストミンスターの鐘	30 秒
2		ウェストミンスターの鐘 (短)	19 秒
3		よろこび	24 秒
4		あおぞら	23 秒
5		ディンドン	18 秒
6		ウェストミンスターの鐘 電子音	31 秒
7		よろこび 電子音	23 秒
8		あおぞら 電子音	22 秒
9		ディンドン 電子音	18 秒
10	楽器	ウェストミンスターの鐘 チューブラベル	31 秒
11		ウェストミンスターの鐘 (短) チューブラベル	19 秒
12		よろこび チューブラベル	22 秒
13		あおぞら チューブラベル	22 秒
14		ディンドン チューブラベル	18 秒
15		チャイム 1 音 チューブラベル	12 秒
16		チャイム 上り 3 音 チューブラベル	18 秒
17		チャイム 下り 3 音 チューブラベル	18 秒
18		アマリリス ビブラフォン	27 秒
19		メロディ ビブラフォン	22 秒
20		よろこび グロッケン	20 秒
21		あおぞら グロッケン	20 秒
22	朝向け曲	「パールギュント」より「朝」	1 分 3 秒
23		夜が明けた	1 分 3 秒
24		「四季」より「春」	1 分 3 秒
25	昼向け曲	小さな世界	3 分 2 秒
26		線路は続くよどこまでも	1 分 4 秒
27		おもちゃの兵隊	1 分 1 秒
28	夕向け曲	夕やけこやけ	1 分 5 秒
29		遠き山に日は落ちて	1 分 30 秒
30		峠の我が家	1 分 4 秒
31	夜向け曲	アニーローリー	1 分 2 秒
32		ほたるの光	3 分 3 秒
33	体操	ラジオ体操第一 (号令入り)	3 分 13 秒
34	サイン音	ティンクル 1	4 秒
35		ティンクル 2	7 秒
36		ティンクル 3	11 秒
37		ティンクル 4	5 秒
38		フラワーゴブリン 1	4 秒
39		フラワーゴブリン 2	4 秒
40		フラワーゴブリン 3	16 秒
41		ベルズ オーバーチェア	21 秒
42		ベルズ シンパシー	19 秒
43		スカイ イン ザ ピース	19 秒
44		リリィ	14 秒
45		リバー	14 秒
46		グッドラック	13 秒

## CD-ROM 内の JVCCHIME フォルダのチャイム音・楽曲について

PA-DT600(B) での再生以外の目的で利用しないでください。著作権法により禁止されています。

また、No.25 [小さな世界]、No.33 [ラジオ体操第一] は著作権の関係上 CD-ROM には収録されていません。

JVCケンウッド  
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12